令和7年度

エピペン 講習会

青い鳥こどもクリニック 引田 満

鎌ケ谷市医師会では鎌ケ谷市学校教育課の 依頼により、毎年エピペン講習会を実施して います。市内の公立小中学校 14 校を対象に 4校ずつ輪番で行っており、今年のスケジュー ルは次頁の通りです。内容はスライドを使っ た座学と小グループでの実習です。

今年度実施スケジュール

初富小学校 4月3日 中部小学校 4月3日 第2中学校 4月10日 7月17日 第3中学校





小グループによる実習

の見極めが最も重要。

エピペンの使い方は難しく

ない

適応の判断と打つタイミング

死亡事故を知っていますか?



有効期限切れの実物エピペン

を利用した実技

平成24年の東京都調布市小学校で

を失って手遅れになることがある。 れができないと注射のタイミング

起きたアナフィラキシーショック

日突然、その日は訪れ、ほとんど 当日の役割分担などを整理してお 率先して行動できるよう、 実践経験を積むことは困難。 く。事前の想定を怠らないように。 ら起こりやすいアレルギー症状や 人がぶっつけ本番であること。 日頃か ある

動目標を共有できていること。

教職員全員が共通認識を持ち、

エピペン®を使用すべき症状



消化器







持続する強い (がまんできない) 腹痛



のどや胸が 締め付けられる



犬が吠える ような咳



する呼吸



声がかすれる



強い咳込み



息がしにくい















唇や爪が青白い

ぐったりしている

不規則 エピペン®が処方されている患者さんでアナフィラキシーショックを疑う場合、上記の症状が1つでもあれば使用すべきである

日本小児アレルギー学会より

令和7年度の鎌ケ谷市立小中学校(14校)のエピペン所有者数を示します。近 年明らかな増加傾向を示していますが、原因としてクルミ等のナッツ類が目立ち、 アナフィラキシーに至るケースも増えているように感じています。また、低年齢 化の傾向もあり、保育園・幼稚園にも所有者がいます。

令和7年度学校別エピペン所有者

東部小学校	2	名
西部小学校	6	名
南部小学校	1	名
北部小学校	3	名
中部小学校	12	名
初富小学校	3	名
鎌ケ谷小学校	5	名
五本松小学校	3	名
道野辺小学校	8	名
鎌ケ谷中学校	4	名
第2中学校	6	名
第3中学校	2	名
第4中学校	3	名
第5中学校	4	名

合計 62 名